

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	男女共同参画推進大会・各種講座の開催事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070113
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織
				連絡先	145

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり
				施策	05	第5節 男女共同参画社会づくりの推進
				細施策	01	男女共同参画の推進
				事務事業	01	男女共同参画推進大会・各種講座の開催事業
画	予算事業名				会計コード	001 款 02 項 01 目 06 事業 09
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	男女共同参画社会実現に向けて、市民への意識啓発を目的とし、男女共同参画推進委員、女性団体連絡協議会、男女共同参画を進める会で構成された実行委員会を設置し、市民主体の活動によって計画される大会です。市民のみならず、男女共同参画を視点に、意見、情報交換の場となります。市民への男女共同参画の意識改革の啓発の講座を開催します。				
	現状と背景 (どうして)	社会や経済情勢の大きな変革が行われている中で、活力ある地域社会づくりを実現するためには、男女の多様な考え方や力を生かしていくことが求められています。あらゆる分野へ男女が等しく参画するために、市民の理解、協力が必要となるので、大会や講座を通じて意見を出し合い反映させていく場が必要です。				
	目的	受益者 (誰のために)	市民			
L		対象 (直接働きかける)	市民			
		意図 (どんな状態にしたいか)	あらゆる分野への男女共同参画が推進され、男女がお互いに人権を尊重しながら責任を分かち合い、性別に関わりなく、個性・能力を発揮することができる社会。			
	手段・方法 (どうやって)	男女共同参画推進委員、女性団体連絡協議会、男女共同参画を進める会のメンバーで構成される実行委員会が計画します。その年のテーマを決めて内容を進めていきます。大会当日はアンケートをお願いし、来年度への参考とします。また、大会開催の1週間前から、市役所1階のロビーを利用し、女性団体や男女共同参画を進める会等の活動の紹介をし、市民への情報発信、啓発をします。				
N	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		男女共同参画推進大会の開催	開催数	回	毎年の開催	1
		男性のための講座	開催数	回	毎年の開催	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		男女共同参画推進大会参加者	大会参加者数	人	参加者の増加	200
		講座への参加数	講座参加者数	人	参加者の増加	40

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円	150,000	145,000	150,000	150,000	150,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	150,000	145,000	150,000	150,000	150,000
職員数						
正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.13	0.13
嘱託職員	人					
臨時職員	人	0.03	0.03	0.03		
合計	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
対象(者)数						
延利用(者)数(b)						
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	3.00	3.00	3.00	3.00	20.00
活動指標	開催数	目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	開催数	目標			1	1
		実績			1	1
	達成率	%	-	-	100.00	100.00
開催数	目標			2	3	
	実績				3	
達成率	%	-	-	-	100.00	
成果指標	大会参加者数	目標	550	200	200	130
		実績	500	130	120	130
		達成率	%	90.91	65.00	60.00
	講座参加者数	目標	38	40	40	40
		実績	20	26	36	30
		達成率	%	52.63	65.00	90.00
備考						

事務事業名	男女共同参画推進大会・各種講座の開催事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070113	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第1回実行委員会を開催し、大会の内容を検討する。講師を決定し依頼。利用できる補助金の調査を行う。	実行委員会を開催し、大会の詳細について打ち合わせを行った。県の人権尊重社会づくり補助金を申請した。	補助金が受理されなかった場合の、経済的措置を考えなければならない。
第2期	推進大会の参加者が昨年以上になるよう、広報に努める。参加者に茅野市の男女共同参画計画を知ってもらえる大会にする。	大会参加者は130人で大きな伸びはなかったものの、幼児を連れて親子・夫婦の参加が多く、意義あるものとなった。アンケート結果では、概ね好評であった。	講師については評価が高かったが、もっとたくさんの人に聞いてもらってこそ意味があると思う。
第3期			
第4期	茅野市男女共同参画推進会議で、今回のアンケート結果を踏まえて次回の計画を決める。	推進会議は4月開催となった。部会で案を考えてもらうようにした。	多世代の参加者が見込める大会の内容。もっと自然に男女共同参画社会を感じる内容を考える(アニメ映画とか)。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充
チラシやポスターなど、広報にも工夫をしたが、大幅な参加者の伸びはなかった。男女共同参画というテーマが、市民の皆さんには固く感じられる。もっと身近な問題であることを感じられるような内容の選定が必要。	果 の 現 状 維 持
	後 の 方 向 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	縮 小
	休 廃 止
	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<p>「男女共同参画社会づくり」に感心のない市民に対して、大会内容をどう持っていくか、毎年、実行委員会にとって検討に一番時間が要しますが、十分な話し合いが必要です。</p> <p>参加対象を「区・自治会」「雇用」「家庭・教育」のどこに持っていくか決めて、この大会を通じて何を啓発していくか絞って決めていく必要があります。</p> <p>また、実行委員会のあり方として、今までのように事務局がある程度準備した段階で動くのではなく、「市民主体で動く実行委員」としての大会に持っていくことも課題となります。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当</p> <p>B: 事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	01070223															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	男女共同参画の社会づくりへの市民の意識は以前よりも多くはなっているが、一部だけだと感じる。様々な解釈、思いがあるので推進はむずかしいです。大会開催を続けることにより、市民への啓発、理解を深める必要があります。どこをターゲットにするかも必要です。	男女共同参画の社会づくりは、以前より市民は意識ははきていますが、様々な解釈、思いがあるので推進はむずかしいです。大会開催を続けることにより、市民への啓発、理解を深める必要があります。どこをターゲットにするかも必要です。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	実行委員から市民が気楽な気持ちで参加し、周りの身近な事に対して「ああこれが男女共同参画なんだ」と感じて帰って行くソフトな内容の大会でも良いのではないかと意見もありますが、参加者に啓発となるようなテーマをあげての内容も必要だという意見もあり、充分な話し合いが必要となります。	実行委員から市民が気楽な気持ちで参加し、周りの身近な事に対して「ああこれが男女共同参画なんだ」と感じて帰って行くソフトな内容の大会でも良いのではないかと意見も多く出ています。市民等による実行委員会と協同し、大会の内容、テーマ等について検討します。								

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	雇用の男女共同参画事業			事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070115
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織	連絡先	145	
計 画	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり		
				施策	05	第5節 男女共同参画社会づくりの推進		
				細施策	01	男女共同参画の推進		
				事務事業	02	雇用の男女共同参画推進事業		
予 算 事 業 名							会計コード	001 款 02 項 01 目 06 事業 17
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスへ向けた事業者と市民への啓発 女性の退職前のキャリアが活かされる就業環境が確保されるよう事業者への啓発 はつらつ事業所制度 従業員の仕事と家庭の両立を支援するための独自の措置を設けている企業を市から表彰する。 							
現状と背景 (どうして)	男女雇用機会均等法の制定などにより女性の働く環境は徐々に改善されてきているが、募集・採用や配置・昇進、賃金などの就労状況は極めて厳しい状況にあります。生涯を通じて男女が共に仕事と家庭の両立しやすいワーク・ライフ・バランスを考慮した就業条件を整備する必要があります。							
目 的	受益者 (誰のために)	市民 就労者						
	対象 (直接働きかける)	市民、事業者						
的 意 図 (どんな状態にしたいか)	働き続けることを希望する女性が、自分のキャリアをあきらめることなく、活躍できる環境をつくる。男性は、仕事中心の生活ではなくワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の調和）を大事にした社会。							
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> 市民へのアンケートは5年後の平成29年度に実施する予定、その間の状況の把握は市民プランの「市民満足度調査」項目に入れてもらう方法をとる。 はつらつ事業所制度は、「働きやすい職場環境づくり」として仕事と生活の調和や男女共同参画に積極的に取り組む企業を評価し、市から表彰し、ホームページや広報ちの等で紹介する。茅野市男女共同参画推進会議の雇用部会委員と協議し取り組む。 							
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値
		アンケート調査	回収率	%	回収数/アンケート配布数			60
		雇用専門部会	開催数	回				3
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値
はつらつ事業所認定件数	認定件数	件	認定する事業所			20		

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円	147,600	162,208	119,902	132,273	779,000	
財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
一般財源	円	147,600	162,208	119,902	132,273	779,000	
職 員 数	正規職員	人	0.20	0.15	0.20	0.25	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人	0.05	0.05	0.05		
	合計	人	0.25	0.20	0.25	0.25	
対象(者)数	円						
延利用(者)数(b)							
単位コスト(a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円	—	—	—	—	—	
市民一人当たりのコスト	円	3.00	3.00	2.00	2.00	48.00	
D 活 動 指 標	回収率	目標	%		60	60	40
		実績	%		40	32	30
	達成率	%	—	—	66.67	53.33	75.00
	開催数	目標	回	3	3	3	3
実績		回	3	3	3	3	
達成率	%	100.00	100.00	100.00	166.67	100.00	
O 成 果 指 標	認定件数	目標	件		20	10	
		実績	件		23	5	
	達成率	%	—	—	115.00	140.00	50.00
	—	目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	—	
備考							

事務事業名	雇用の男女共同参画事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070115	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第1回雇用専門部会を開催し、今年度の「はつらつ事業所認定」のスケジュール等を確認する。	雇用専門部会を開催し、事業スケジュールを確認した。今年度は、10社登録を目指す。また、認定事業所のメリットについて考えた。	認定事業所メリットについて、入札加点や市内施設利用券配布などについて、関係部署と内容を詰めていく必要がある。
第2期	認定事業所特典をまとめ、効果と課題を検討する。	入札加点について、財政課と打ち合わせ。雇用部会を開催し、特典についてさらに検討。	事業所としての特典だけでなく、その事業所に働く従業員が「この事業所がはつらつ事業所で良かった」と思える特典を考えていく必要がある。
第3期	入札加点制度の導入。目標である10社の登録。	入札加点制度が導入できたため、28社の事業所から申請があった。	入札加点制度により申請も増えたが、特定の業種に偏ってしまった。様々な業種の事業所に参加してもらうにはどうしたらよいか。
第4期	申請事業所全社の認定。	申請のあった28社全てが認定された。特徴的な取組もあり、マスコミで取り上げてもらったこともよかった。	申請は「働きやすい職場環境づくり」の第一歩となる内容でもよいが、申請内容が実施されているか、現状より一歩すすんだ取組を考えてもらわなければならない。再認定の様式など検討が必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 果 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 休 廃 止 方 向 性 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
申請事業者は、9月末時点で6社。もっと積極的な広報や声掛けが必要。委員のついでだけでなく、商工課やマスコミなど、各方面から申請を呼びかけていく必要がある。	
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 年 度	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<p>男女雇用機会均等法などが制定され、女性の働く環境は徐々に改善されてきていますが、結婚、出産、育児の時期には、働き続けることを希望しながらも、退職を余儀なくされる等、実際の女性の就労状況は極めて厳しいものとなっています。また、職場優先で長時間労働が当たり前と考えられてきたため、男性が育児や介護といった家族の一員としての責任を果たすことができない状況にあります。女性労働者が力を発揮できる場や出産後も職場に復帰できる職場環境を、企業も前向きに促進したくてもこの長期の景気低迷状態にむずかしいと考えます。第3次男女共同参画計画の雇用関係の取り組みを実施し、企業側が「男女共同参画社会づくり」に向けての取り組みのきっかけの機会を作ることが必要です。</p>															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

評 価 年 度	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	総合評価	茅野市男女共同参画推進会議委員に企業関係の方を増やした事により、雇用専門部会が、第3次計画の取り組みが実施できるようになり、充実してきている。					女性と雇用の実態を把握するためにも、意識調査は必要です。この結果を第3次男女共同参画計画に取り入れます。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今後の方向性	成果の方向性	拡 充	②	⑤	⑦	成果の方向性	拡 充		
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ	
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小			
		休 廃 止	①				休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目は5年ごとの変化を見るように部分的に同じ項目が必要。 企業関係の部員さんが、実際に自分たちの会社の状況等の参考にし、部会活動を進めることができる。 はつらつ事業所の認知度を高められるよう、広報に力を入れる。 					<ul style="list-style-type: none"> 女性と雇用の実態を把握するためにも、一定の間隔を持った継続的な意識調査は必要なので現状のまま行う。 アンケート項目は5年ごとの変化を見るように部分的に同じ項目が必要。 「はつらつ事業所」認定制度をさらに広く紹介し、商工課と連携し応募者の増加を図る。 				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	区・自治会の男女共同参画事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070114
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織
				連絡先	145

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり	
				施策	05	第5節 男女共同参画社会づくりの推進	
				細施策	01	男女共同参画の推進	
				事務事業	03	小地域の男女共同参画推進事業	
画	予算事業名				会計コード	001 款 02 項 01 目 06 事業 09	
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	女性の区への参加により区組織における方針決定過程への女性参画促進のため、区長・自治会長を対象とした女性役員登用に対する意識調査（毎年）や茅野市男女共同参画推進会議委員との懇談会を開催する。					
	現状と背景 (どうして)	茅野市には様々な規模の区・自治会組織がありますが、主な役員である区長・自治会長、区会議員、公民館分館長のうち女性は少数となっています。小地域における各種団体において企画・決定する場に女性が参加できるよう男女それぞれの意識を高め、しきたりや慣習などを変えていく必要があります。					
	目的	受益者 (誰のために)	市民				
P	対象	対象 (直接働きかける)	区・自治会長				
	意図 (どんな状態にしたいか)	地域における方針等を企画・決定する場で、男女がパートナーとして意見を出し合い、共に責任を分かち合いながら、地域社会づくりに関わっていく。					
	手段・方法 (どうやって)	毎年、区・自治会長宛に女性役員登用に対するアンケート調査を実施。アンケートをまとめ結果を広報ちの等に掲載し、市民に周知する。各区長会へ茅野市男女共同参画推進会議委員がアンケート調査の依頼に向向き、区長、自治会長と懇談をし啓発に繋げる。女性役員（区会議員含む）と茅野市男女共同参画推進会議委員との懇談会を開く。					
A	N	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
			区・自治会との懇談会	懇談会数			10
			女性役員との懇談会	女性役員との懇談会数			3
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
			女性の役員登用	登用数	人 増加	35	

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円	173,800	164,884	134,889	145,073	170,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	173,800	164,884	134,889	145,073	170,000	
職員数							
正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.12	0.12	
嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.02	0.02	0.02			
合計	人	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
対象(者)数							
延利用(者)数(b)							
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	3.00	3.00	2.00	3.00	19.00	
D	活動指標	懇談会数	目標	10	10	10	10
			実績	10	10	10	10
		達成率	100.00	100.00	100.00	90.00	100.00
	女性役員との懇談会数	目標	-	3	3	3	1
		実績	-	1	0	0	0
		達成率	-	33.33	0.00	0.00	0.00
部会数	目標	3	3	3	3	3	
	実績	3	3	1	3	3	
	達成率	100.00	100.00	33.33	100.00	100.00	
O	成果指標	登用数	目標	35	35	35	35
			実績	27	27	27	28
	達成率	77.14	77.14	77.14	77.14	80.00	
	-	目標	-				
	実績	-					
	達成率	-	-	-	-	-	
備考	H19から実施						

事務事業名	区・自治会の男女共同参画事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070114
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野明香織	連絡先
						145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	御柱年であったため、年当初の区長会に出向くことをやめたが、今年の区長会訪問をどうするのか第1回部会で検討する。	部会を行い、アンケート依頼の区長会訪問は秋に実施し回収することを決定する。	アンケートの内容はこのままで良いのか検討が必要。
第2期	アンケートの内容の見直し。	アンケートの内容について見直しを検討。経過を見るため必要な部分はそのままにし、さらに聞きたい部分を追加した。	アンケートの結果について、何かのタイミングで考察する必要があるのではないか。
第3期	アンケート依頼のための区長会訪問	10地区の区長会にお邪魔して、アンケートの依頼と現在茅野市がすすめている男女共同参画計画について説明した。質問や意見も出て、懇談会のようになった地区もあった。	アンケートの結果について、何かのタイミングで考察する必要があるのではないか。
第4期	次年度の活動について検討。	次年度の活動についての部会は、新年度に行うこととした。	アンケートの結果を第3次茅野市男女共同参画計画の見直しに活用する。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 アンケートは10年ほど継続してきているが、大きな数値の伸びはない。しかし、このような活動は、継続して推進することが重要だと考える。数値の伸びはないが、地域の意識は少しずつ「女性にも役員をやってほしい」「女性でもいいのではないか」と変わってきているように思う。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	<ul style="list-style-type: none"> 女性登用数は去年より減っているが平成20年度のアンケート開始時より増えています。 その年の区・自治会長の考えかたで違いも出てきます。 女性役員登用の数字を上げるだけの目的ではなく、なぜ、女性参加が必要かを区・自治会の皆さんに理解してもらう必要があります。 	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	前年度評価シート整理番号 01070225

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	区・自治会長に対し、女性登用の啓発はすぐに結果が出るものではないですが、継続的にを行うことにより意識啓発にはつながるのでこれからも必要です。	区・自治会長に対し、女性登用の啓発はすぐに結果が出るものではないですが、継続的にを行うことにより意識啓発にはつながるのでこれからも必要です。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		

改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> 区長会でのアンケート調査の依頼を男女共同参画推進会議委員と共に行、市民の視点で説明をしていただいています。 平成20年度から区・自治会へアンケート調査を毎年続けてきましたが、調査結果から大きな変化は見られないことや、調査回答にじっくり答えてもらうために、隔年に実施することを検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの時期・内容を変更する。 区長会でのアンケートの依頼を従来は事務局だけで行っていたですが、平成25年度からは男女共同参画推進会議委員と共に行き、市民の視点で説明をしていただいています。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	家庭・教育での男女共同参画推進事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070116
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織
				連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり
				施策	05	第5節 男女共同参画社会づくりの推進
				細施策	01	男女共同参画の推進
				事務事業	08	家庭・教育での男女共同参画推進事業
	予算事業名			会計コード	001	款 02 項 01 目 06 事業 17
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	男女共同参画社会を実現するためには、まず家庭において意識を高めることや、子どもたちから、男女が共に助け合い、お互いが責任を担う家庭環境、教育環境が必要です。第3次茅野市男女共同参画の施策の取り組みを茅野市男女共同参画推進会議委員の家庭・教育専門部会と連携し、実践していきます。				
	現状と背景 （どうして）	子育て環境が変化しており、孤立した子育ての中で母親は不安を抱えています。父親の家事、育児参加しやすい環境づくりが必要です。また、子どもたちは家庭における教育やしつけにより、無意識のうちに意識を身につけてしまいます。子どもの頃から、男女が共に助け合い、お互いに責任を担う家庭環境、学校での環境が必要です。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	家庭において男女が共に活躍できる社会の実現。			
	手段・方法 （どうやって）	男女が共に助け合い、責任を担う家庭が増えるよう情報提供などをし、意識の向上を図ります。企業側への雇用専門部会の取り組み「はつらつ事業所」に、家庭教育専門部会も協力し、男性が育児参加できることが可能となる職場環境の整備の啓発をします。茅野市男女共同参画推進会議の家庭・教育専門部会で市民への啓発活動を話し合い、実施します。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		活動指標	家庭・教育専門部会	部会数	回	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		小学校啓発訪問	学校数	校		5

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	147,600	162,208	119,902	285,872	151,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	147,600	162,208	119,902	285,872	151,000	
職員数	人	0.06	0.10	0.10	0.11	0.11	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.01	0.01	0.01			
合計	人	0.07	0.11	0.11	0.11	0.11	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	3.00	3.00	2.00	5.00	18.00	
D （ ）	活動指標	部会数	目標	実績	達成率		
			3	3	100.00		
	-	目標	実績	達成率			
O （ ）	成果指標	学校数	目標	実績	達成率		
			3	1	33.33		
	-	目標	実績	達成率			
備考							

事務事業名	家庭・教育での男女共同参画推進事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070116	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	コミュニティ推進係	作成担当者名	野 明 香 織	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第1回家庭教育専門部会を開催し、昨年度の反省を生かしながら今年度の取組を検討する。	部会を開催し、今年度は中学校へも訪問に行くことを決定した。学校教育課を通して依頼する。	中学校でどんな内容を行うか、初めての試みなので検討が必要。
第2期	小・中学校での内容を検討。	金沢小学校、東部中学校へ訪問に行くことが決定した。金沢小学校では、授業の時間を1時間取ってもらえることになった。東部中学校は、キャリア教育とからめて考えることになった。	中学校の啓発も、小学校の45分間を使つての啓発も初めてのため、手順の確認や内容の充実が必要。
第3期	東部中学校の訪問(キャリア教育)。	女性バスドライバーのインタビューを撮影、編集して、職業選択に男女の差はなくなってきたことをテーマとした映像を作成した。	2年生全員が対象であったため、アンケートで感想を聞いた、もう少し明確な答えを出した方が良かったかもしれない。
第4期	金沢小学校の訪問(キャリアと男女の差)。	1時間の授業時間が足りないくらいワークショップやカルタ大会など充実した内容となった。少人数であったため、リアルな感想や意見を聞くことができた。	今後もワークショップなどができるのであれば、ある程度手順やテーマをマニュアル化した方がよい。アンケートから次回への課題を考える。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 中学校へ訪問できるようになったことは良かったが、良いテキストや題材がないため、自分達で一から考えなければならない。今後も続けていくのであれば、テキストやワークシートなども必要との意見も出た。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	少子化や核家族化の進行、地域社会における人間関係が希薄になってきている状況では、女性は密室での育児に陥り、精神的に追い詰められた母親の孤独から児童虐待等の問題が生まれています。これからは、子育てを男女が対等なパートナーとして、互いに協力し、共に責任を分かち合い、行政がきめ細かな支援を行い、地域の人たちがそれを支援する社会づくりに努める必要があります。子どもの頃からの男女共同参画意識も必要であり、家庭、学校環境での意識づくりが必要です。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	前年度評価シート整理番号 01070230

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	女性だけでなく男性も家事、育児などに参画し、喜びも責任も分かち合います。子育ては、男女で共に関わって、子育ての喜びと責任を共有し、状況によっては地域の人たちの応援や多様な保育サービス、行政の支援を受けながら、ゆとりを持って子育てをするための環境が必要です。また、家庭、学校等で、男女が共に助け合い、お互いに責任を担うことが自然と身に付く環境が必要であり、茅野市男女共同参画推進会議家庭・教育専門部会等に協力してもらい啓発を続けていくことが必要	女性だけでなく男性も家事、育児などに参画し、喜びも責任も分かち合います。子育ては、男女で共に関わって、子育ての喜びと責任を共有し、状況によっては地域の人たちの応援や多様な保育サービス、行政の支援を受けながら、ゆとりを持って子育てをするためにどんぐりプランと合わせながら進めていく必要があります。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後														
	成果の方向性	拡 充			②	⑤	⑦	現 状 維 持			③	⑥	⑨	縮 小			④	⑧	⑩	休 廃 止
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																			

改革・改善策	第2次茅野市男女共同参画計画ではどんぐりプランの推進を男女共同参画の施策にしていますが、第3次からは、男女共同参画の視点での施策に絞り取り組みを挙げています。	第2次茅野市男女共同参画計画では、どんぐりプランの推進を男女共同参画の施策にしていますが、第3次からは、男女共同参画の視点でのどんぐりプランの施策の取り組みを挙げていきます。
--------	---------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生涯学習課長	藤 森 隆
---------	------------	---------	--------	-------